

奥武蔵名栗 げんきプラザボルダー

令和元年9月6日 RCT/K

今年は天候の巡り合わせが悪いという以上に、晴れて何処か登れるかなと出かけても、どこも結露が酷く、登れずに帰ってくるということがしばしばであった。

そんな中、実家からの帰京時、秩父を経由してボルダーなどの状態を確認した際、何度も側を通りかかりながらも、小さく被りがないということで全く目にも留めなかった「名栗げんきプラザ」近くのボルダーを覗いてみた。

このボルダーは「プラザ」と道路を挟んで反対側にあり、道路から15m程入った藪の中にあるのだが、行ってみると、きれいなフェイスで、ホールドも適度にあり、ちょっと遊ぶには十分と思えるものであった。その日は結露が酷く、時間もなかったため、ちょっと藪を払っただけで帰宅した。

後日、青空がのぞいた日、目的の岩が登れず、仕方なくこのボルダーへ行ってみると、ちょっとホールドを拭いて乾かせば登れる状態であったため、滑りに我慢しながらトライしてみた。ホールドがなかなか乾かず、何度もトライし難く感じる課題もあったが、乾いた良い状態であれば、それほど難しいものではないように思える。取り敢えず、アプローチが良く、何かのついでにちょっとは遊べるボルダーなのここに紹介したい。

ボルダーの高さは2.5m程で、一見花崗岩のように見えるがチャートである、正面のフェイスが意外ときれいで、苔はついていないが、上に灌木などはなく、道路から見える位置にあり、記録は確認できていないが、以前他者によりトライされた可能性がある。

アクセスは「名栗げんきプラザ」を目標にしていく。駐車は「げんきプラザ」の駐車場を利用できるが、直ぐ傍に何か停められるスペースがあり、ボルダーまで1分程度なので、そちらの方が便利である。



《課題紹介》

トポ左:北面 右:西面

課題は黄緑ラインを除き、他は全てSDスタートとなる。

ムーヴ的には赤ライン、青ライン、紫ライン辺りが面白い。少し手こずったが、状態が良ければ多分難しくはないだろう。

赤ライン、青ラインともに左右のカンテのホールドは使用しない。紫ラインはスタートの足の位置がポイントとなる。

